



ニュースレター No.1 を発行したばかりですが、はやく去年の活動報告をと思って間をあげずに No.2 を発行します。今号は去年（2014年）9月14～15日に宮城の海岸で、こちらから持って行った海浜植物を植えたという報告です。代表の鈴木が一昨年の秋に宮城の浜で採取してきたタネ、ようやく苗として返すことができました。ほかに交流イベントも数々あり、一部ですが紹介します。

エコトーンサイト ネイチャークルージング Part IV 砂浜を学び、砂浜を未来に伝える 第1部 学習交流会

松島肇北大農学部講師と岡浩平広島工業大学助教のお二方から海浜の持つ生態的意味合い、仙台海岸の現状などについてお話しいただきました。



[日 時]：9月15日（月）10:00～12:15
[会 場]：仙台市七郷市民センター研修室
[参加者]：45人

エコトーンサイト ネイチャークルージング Part IV 砂浜を学び、砂浜を未来に伝える 第2部 海浜植物の播種・植栽活動

午前中の学習交流会に引き続き、仙台市岡田新浜・南蒲生海岸と仙台市荒浜海岸で、海浜植物の播種・植栽活動を行いました。岡田新浜・南蒲生海岸では播種と植栽、荒浜海岸では植栽だけです。

植栽した種類はハマヒルガオ・コウボウムギ・ハマニガナ・ケカモノハシ・ウンラン・ハマボウフウの6種、播種した種類はハマヒルガオ・コウボウムギ・コウボウシバ・ハマボウフウ・ハマニガナの5種。苗は北海道で育てたもののほか、あらかじめ宮城のナーセリーで育てたものも使用しています。まだ試験的な段階のため、岡田新浜・南蒲生海岸では播種・植栽ともに20m²、荒浜海岸では植栽75m²でした。午前中の学習交流会に参加した方々だけではなく、前日一緒に意見交換を行った岡田新浜の方たちにも参加していただきました。



[日 時]：9月15日（月）13:00～15:40
[会 場]：岡田新浜・南蒲生、荒浜海岸
[参加者]：55人

モニタリング

今回試験播種・植栽をした場所は、汀線からかなり近く波に洗われる可能性があったり、一方防潮堤の内陸側で海岸環境とは条件が異なったりしています。播種・植栽をしただけではなく、その後のモニタリングも始めています。北海道から頻りに訪れることは難しいので、平吹喜彦東北学院大学教授を中心とした研究グループと協働で進めていこうと考えています。



[日 時]：10月19日（日）
[場 所]：仙台市岡田新浜・南蒲生海岸

宮城のみなさんとの交流

そう何回もある機会ではないで、朝から晩まで里浜ネットワークの方々との交流に励んで来ました。14日にはゆりりん愛護会の大橋さんのご案内で、名取市閉上の第2ハマボウフウ保護区を見学しました。そして岡田新浜のあとには「荒浜再生を願う会」の喜田喜一さんのところへ。15日早朝には、七里ヶ浜町表浜で「七里ヶ浜の100年を考える会」の方々、仙台市北蒲生の浜では「北蒲生のまちづくりを考える会」の方々とお話しすることができました。



[日 時]：9月14日(日)・15日(月)

植松入生仮設住宅の人たちとの交流

海砂を持ってきて海浜植物を植え、「砂浜花壇」をつくっているということは伺っていました。今回、直接おじゃまして団地の代表にお話を伺うことができました。生まれ育った土地の景観をどうするのか、大きな課題であると感じ、私たちの活動が少しでもお役に立てればと思いながら団地をあとにしました。



[日 時]：9月14日(日) 10:50~11:40

震災を克服する市民力： 岡田新浜に学ぶ(第1回)

仙台市岡田新浜で地域復興を進めてこられた方々から、大震災の実態、復興活動の道のり、ふるさとへの想いをうかがい、「よそ者に、どんな活動ができるか」アイデアを交換します、という趣旨に沿って私たちも参加。集会所で、EPO 東北の鈴木美紀子さんにコーディネートしていただきながら、様々なお話を伺ってきました。その後、町内会の方々と一緒に貞山堀まで行き、海岸林の被災状況など見学しました。



[日 時]：9月14日(日) 13:30~16:00

お礼のことは

ニュースレターで謝辞というのも変ですが…。今回の一連のイベントは「北の里浜 花のかけはしネットワーク(はまひるがおネット)」と「南蒲生 砂浜海岸エコトーンモニタリングネットワーク」・「緑を守り育てる宮城県連絡会議」の共催でした。準備はじめ進行に当たっては、宮城の皆さんにたいへんお世話になりました。紙面の関係でみなさんのお名前をあげることができませんが、交流を深めてくださったことにお礼申し上げます。

編集後記

私たちの活動も3月で丸1年となります。そろそろ次の1年の計画を立てなければならない時期にきています。といいながらこの1年の報告がすんでいないぞ、ということでもかなりラフですが昨年の活動を振り返っています。これが立て続けにニュースレターを発行しようとした理由です。次からは結果だけでなく、プロセスも報告しなければと考えています。時間がとれるかなあ…。(文責/事務局 孫田 敏)

はまひるがおネット ニュースレター No.1

2015年1月10日発行

編集・発行 /

はまひるがおネット事務局

連絡先 /

<https://www.facebook.com/hamahirugao>

harunire147@gmail.com (鈴木 玲)



はまひるがおネット